

中国 5 県休眠預金等活用事業 2020

公募結果

■ 概要

選考結果	採択
団体名	特定非営利活動法人ブエンカミーノ
代表者名	吉川 望
申請事業名 主題	ひろしま農業型自立支援プログラム～生きづらさを抱える若者の多様な「働くこと」「暮らすこと」を支える事業
申請事業名 副題	
エリア／テーマ	【広島県】 生きづらさを抱える人が、働くことを通じて自分らしく暮らすことができるサポート事業
解決すべき社会課題	② 日常生活や成長に困難を抱える子どもと若者の育成支援 ③ 社会的課題の解決を担う若者の能力開発支援 ④ 働くことが困難な人への支援 ⑤ 社会的孤立や差別の解消に向けた支援 ⑥ 地域の働く場づくりの支援 ⑦ 安心・安全に暮らせるコミュニティづくりへの支援
申請事業の概要	自分らしい「働き方」「暮らし方」の達成に向けてチャレンジすることを支える、多様性と出会いを重視した共同生活型就労自立支援事業を実施する。 ・農業研修(就労訓練) ・田舎ホームステイ ・広報活動(相談説明会・メディア広報) ・地域企業での研修ボランティア ・シェアハウスでの共同生活
事業実施地域	広島市安佐北区亀山(事務所、宿舎) 広島県安芸高田市八千代町佐々井(農場)
申請事業期間	(開始月)2021年4月～(完了月)2024年1月
申請助成額	17,850,000 円 【内訳】直接事業費 14,465,000 円、管理的経費 2,535,000 円、評価関連経費 850,000 円

■ 審査コメント

- ✓ 就労支援に関する実績が評価できる。本事業を通じた事業の具体性が十分でないように感じる。
- ✓ 共同生活を基盤としながらの長期的な農業研修による各自の目標設定とスキルアップを図り、その後地域との協力による農業関連の就業機会へのアクセスという流れは中山間地域モデルとしての可能性を感じます。
- ✓ 若者自立支援シェアハウス事業はとても共感できる。受益者のニーズに合わせた長期と短期プランの設計に期待。
- ✓ 潤沢な予算が終わったあとの事業継続に不安がある。しっかりした出口戦略を設計してほしい。
- ✓ これまでの活動を地道に続けていくほうが良いのではないか。
- ✓ 空物件の有効利用、耕作放棄地の活性化、過去の就労支援については評価できる。
- ✓ 就労支援の中にキャンプを組み込んだ仕組みについては独自性を感じる。日常作業だけではコミュニケーション取れないところをいい形で実現できている。
- ✓ 就労支援のち、一回で解決は難しい、こういった場所の必要性を認識していることは評価できる。
- ✓ 今回の休眠の資金を使ってどう変えるのか、具体的に見えてこない。この辺りは伴走支援でいい形になることを期待する。
- ✓ 若者のシェアハウスは岡山や全国にもある。しっかりと調査して参考にしてほしい。
- ✓ 共同生活を基盤としつつ、農業研修をしていく。それを超短期組み合わせている。農業関係に絞ること、周辺の農業者との連携、受け皿もあり、一つのモデルになると思う。
- ✓ 里山の様々な資源を組み合わせることは評価できる。
- ✓ 取組みの必要性は共感できる。
- ✓ 資金計画には必要性が十分に理解できない点もある。しっかりとブラッシュアップしてほしい。